

地震

情報の
入手先

- 気象庁 気象警報・注意報
- 気象庁 地震情報

<http://www.jma.go.jp/jp/warn/>
<http://www.jma.go.jp/jp/quake/>

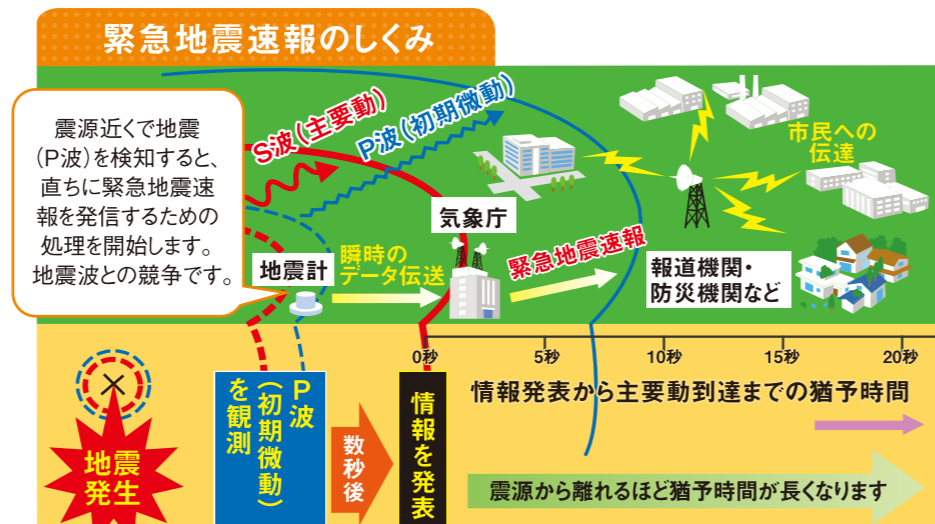
地震発生時の心構え／行動のポイント

地震発生	発生1~2分	発生3分	発生5分	発生10分 発生数時間	発生3日くらい	
最初の大きな揺れは1分間 ■まず、身を守る ・机の下に入る ・クッションや雑誌などで頭を保護する ・家具やガラス面から離れる	揺れが収まったらまず火の始末 ■脱出口を確保する ■火元を確認する ■家族の安全を確保する ■靴をはく	隣近所の安全確認 火災の発生を防ぐ ■隣近所に声をかける ■近所に火が出ていたら初期消火 ■余震に注意 ■非常持出品を用意する	ラジオなどで正しい情報入手 ■正しい情報をつかむ ■電話はなるべく使わない ■家屋倒壊などの危険があれば避難	協力して消火 救出・救護活動 ■助け合いの心が大切 ■水・食料は蓄えているもので ■壊れた家には入らない ■災害情報・被害情報の収集		

緊急地震速報

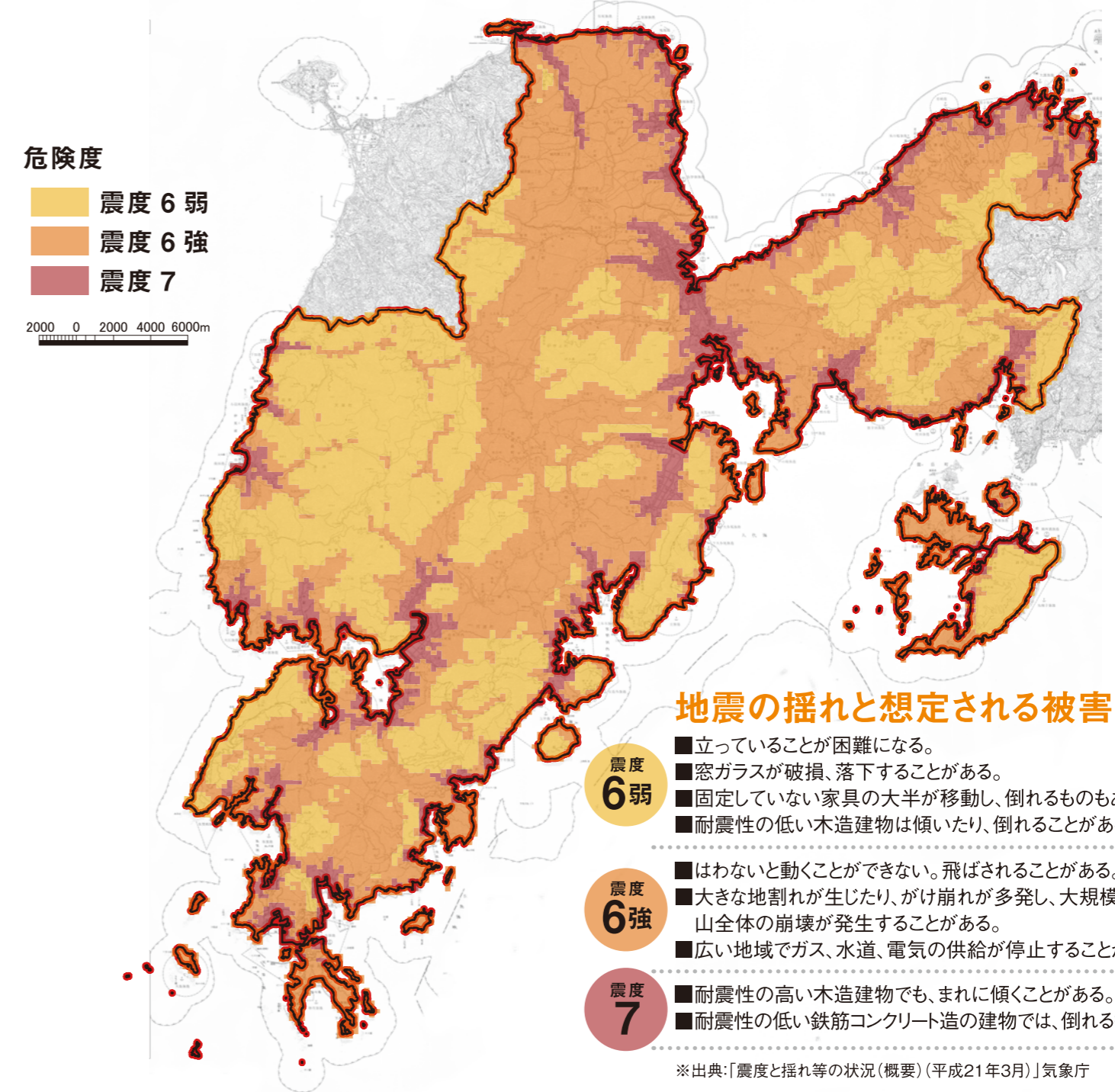
周辺で最大震度5弱以上の地震が推定される場合に、テレビ・ラジオ・メールを通じて、もうじき揺れることをお知らせします。周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保してください。

※震源に近い場合、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。



地震ハザードマップ(揺れやすさマップ)

どこでも発生する可能性のあるM6.9の直下型地震が発生した場合に、市内で想定される最大の揺れをマップに表示しています。計算は、約50m四方の「メッシュ」単位で行っています。(平成30年 天草市作成)



津波

情報の
入手先

- 気象庁 気象警報・注意報
- 気象庁 大津波警報・津波警報・津波注意報

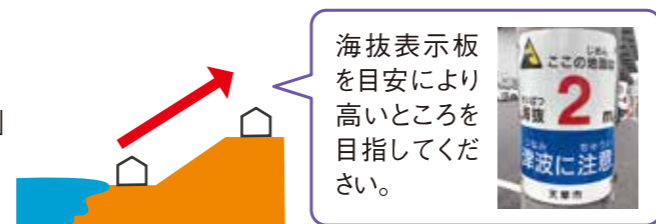
<http://www.jma.go.jp/jp/warn/>
<http://www.jma.go.jp/jp/tsunami/>

避難のポイント

- 小さな揺れでも油断禁物!**
小さな揺れの地震でも、長い時間ゆっくりとした揺れの場合、津波が来襲することがあります。
- 海岸や川には近づかない!**
海岸はもちろん、津波は市街地よりも川を早くさかのぼりますので、できるだけ川に近づかず避難しましょう。



■高い場所へ避難する
海岸から「より遠くへ」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。



■率先避難者になりましょう
率先避難とは「緊急時に周囲に避難を呼びかけつつ、自ら率先して避難すること」を言います。率先避難者になることで、それを見ている周囲の人に避難行動を取らせるきっかけになります。

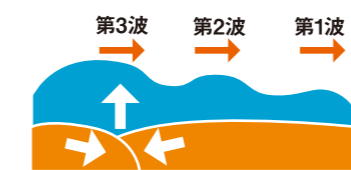


津波の特徴

- ジェット機並みの速さ
- 想像以上の高さ



- 予兆もなく襲ってくる
- 津波は繰り返す



津波に関する警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が気象庁から発表され、その後予想される津波の高さや津波の到着予想時刻などが発表されます。

	予想される津波の高さ		想定される被害
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超(10m<高さ) 10m(5m<高さ≤10m) 5m(3m<高さ≤5m)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。養殖いかだが流出し小型船舶が転覆します。